わったら大きくなっちゃった！

以前，このような質問を受けたことがあります…

「今まで勉強していたわり算では，わり算をすると答えがもとの数より小さくなっていましたが，この前勉強した，小数でわるわり算では，（1 より小さい数でわると）答えが，もとの数より大きくなりました。なぜですか？」

①６÷２＝ 3 ←もとの６より小さくなります。
②６÷0.2＝ 30 ←もとの６より大きくなりました！

この生徒さんは，今までは①のような整数でわるわり算を勉強してきていて，新しく②のような小数でわるわり算を勉強したときに，『“わった”のに大きくなるのはなぜだろう？」と思ったらしいのです。

たしかに，突然聞かれると大人でも上手くは答えられないかもしれませんね！

÷÷÷

同じわり算をして求めた「３」ですが，答えの意味が違うのが分かったでしょうか？

では，話を元に戻して，“６÷0．2”について考えましょう。
包含除の場合で考えた方が分かりやすいと思いますから，次のような問題で考えてみましょう…

問 ６mの針金を0.2mずつに切ると何本になりますか。
解 ６÷0.2＝30　なので，30本になります。　　←6mには0．2mが30こ含まれている。

答えは，もとの「６」より大きくなりましたが，１mで切れば「６」本ですが，１mより細かく（0.2m）切っているので，「６」本より大きな「３０」本と答えが出てくることも分かりやすいでしょう。

÷÷÷